

I D : @PATIENTID @USERSECTION

氏名 : @PATIENTNAME

生年月日 : @PATIENTBIRTH2

性別 : @PATIENTSEXX

綾部市立病院 化学療法
標準プロトコル／治療計画書 [No.347]
当レジメンの2022年度実施状況: 0件

肝細胞 regorafenib

<対象>

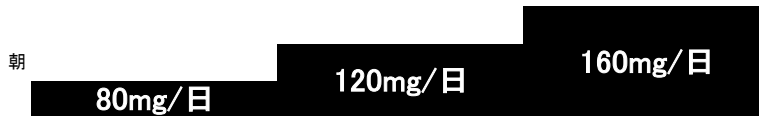
がん化学療法後に増悪した切除不能な肝細胞癌

<標準プロトコル>

1コース目

day1	day8	day15	day22
1	2	3	4週

regorafenib



レゴラフェニブ

分1朝食後 1コース4週 3週投与1週休薬

- 1コース目で投与量を漸増して用量を決定する。
- 2コース目以降は1コース目で決定した用量で投薬する。

※添付文書では160mgから開始となっているが、ReDOS試験
(大腸がん対象)に基づいて80mgから開始し、漸増する。

<患者情報>

身長 \$HEIGHT cm 体重 \$WEIGHT kg 体表面積 \$身体情報 m²

<使用薬剤・投与量>

レゴラフェニブ

●用量

- ・朝食後投与が望ましい(空腹時投与を避ける必要があり、加えて高脂肪食後の投与を避けることが望ましいため。
- ・ReDOS試験に基づき、以下の様に投与する。
1コース目: 基本はregorafenib:80mg(2錠)/dayで1週間→120mg(3錠)/dayで1週間→160mg(4錠)/dayで1週間→休薬1週間
増量できなかった場合、その用量を2コース目の開始用量とする。

●副作用への対応

- ・手足症候群
grade1 (ピリピリ感)までは継続可
grade2 (明確な痛み)以上は直ちに休薬
- ・肝機能異常
少なくとも最初の2コース(8週)においては週1回、3コース目以降は2週に1回
投与中に前値と比較し、検査値が2倍以上に上昇した場合、より頻回に検査等、慎重に経過観察
休薬中に前値と比較し、検査値が2倍以上に上昇した場合、休薬期間の延長

<治療計画>

● 切除不能進行再発

開始 年 月 日 ~ 治療に対して不応または不耐まで

主治医

指導医

主治医の先生へ) 治療開始時に患者情報・治療計画を記入し、薬剤部まで提出してください。